



ハトダヨ
2019年
7月号

函館市中央図書館

編集・発行 函館市中央図書館 指定管理者 TRC 函館グループ

〒040-0001 北海道函館市五稜郭町 26 番 1 号

TEL (0138) 35-5500 FAX (0138) 35-5525

市中央図書館だより

第39号 令和元年7月1日発行

予約ランキング

図書館でたくさん予約が入っている本は何か、みなさんにご存知でしょうか。ランキングを参考に読みたい本を探すのも一つの方法です。ご予約は図書館の窓口、またはインターネットからどうぞ。

＼令和元年6月2日現在、予約回数の多かった本をご案内しています／

1	昨日がなければ明日もない	宮部 みゆき／著	11	妻のトリセツ	黒川 伊保子／編著
2	そして、バトンが渡された	瀬尾 まいこ／著	12	とめどなく囁く	桐野 夏生／著
3	ノースライト	横山 秀夫／著	13	ある男	平野 啓一郎／著
4	すぐ死ぬんだから	内館 牧子／著	14	沈黙のパレード	東野 圭吾／著
5	一切なりゆき	樹木 希林／著	15	光まで5分	桜木 紫乃／著
6	樹木希林 120 の遺言	樹木 希林／著	16	本と鍵の季節	米澤 穂信／著
7	宝島	真藤 順丈／著	17	フーガはユーガ	伊坂 幸太郎／著
8	キンモクセイ	今野 敏／著	18	姑の遺品整理は、迷惑です	垣谷 美雨／著
9	傲慢と善良	辻村 深月／著	19	シーソーモンスター	伊坂 幸太郎／著
10	機捜 235	今野 敏／著	20	愉楽にて	林 真理子／著

イベント告知

令和元年度 函館市中央図書館 夏休みイベント

夏休み
こども図書館員
大募集

参加費
無料

詳しくはチラシ・
ポスターをご覧ください。

対象 函館市内の小学校5・6年生 24名(各回12名ずつ)

申込み 中央図書館窓口か電話での申込みにて受付
☎ 0138-35-5500 企画担当まで
※先着順で、定員になり次第締め切らせていただきます。
※第1回・第2回とで、重複しての申込みはできません。

募集期間 令和元年7月1日(月)～7月15日(月)
(受付時間 9:30～20:00)

問合せ 函館市中央図書館 企画担当 ☎0138-35-5500

第1回

7/29(月)
9:00～12:00

第2回

7/30(火)
9:00～12:00

ハトダヨにしか
載っていない！

ぜひ読んでみてください！

スタッフのおすすめ本

タイトル：「日本の醜さについて ～都市とエゴイズム」

著者：井上 章一 出版社：幻冬舎（2018 年 5 月）

「和の精神」は日本文化の美点として取り上げられます。しかしながら、「日本の街並は何故こうまで、周りと調和しない建築が多いのか？」本書の問題提起は、素晴らしいの一言です。

「日本は木造で、西欧は石造だから…」といった建築の伝統の問題に留まりません。「景観を守りましょう（良くしましょう）」という社会の「ルール」と、「自分の土地だから、どんな建物、看板でも自由だろ。」といった個人の「エゴ」「自由」との領域の問題にまで話は及んでくるのです。本書の中では、結論は示されていません。しかし、この議論の広がりをも十分に示唆してくれます。

最近の日本文化論の書籍の中では、異色の一冊ではないでしょうか。

棚：A31

請求記号：S518.8 ｲ

タイトル「大接近！工場見学 2 ガリガリ君の工場」

構成・文：高山 リョウ 出版社：岩崎書店（2017 年 2 月）

夏といえばアイスクリームが美味しい季節です。人気アイスクャンディ「ガリガリ君」を作っている赤城乳業の工場に大接近！工場では作業服や床までもガリガリ君をイメージした「ガリガリブルー」一色。アイスクャンディが出来上がるまでの工程をページいっぱいの写真で楽しめます。

眺めているだけでもなんだか涼しくなりますよ。

棚：J20～J22

請求記号：509 ㏸ 2

タイトル：「運命の騎士」

著者：ローズマリ・サトクリフ 出版社：岩波書店（1987 年）

舞台は 11 世紀末のイギリス。孤児のランダルは人のぬくもりを知らずに育ちましたが、ある地方の領主に預けられたことにより、そこで家族と呼べる人々を得ます。

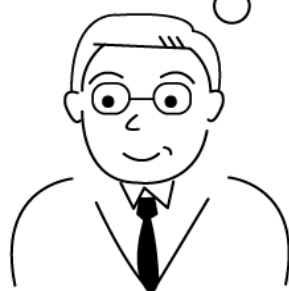
やがて動乱の時代が訪れ、彼は大切な人達を守るために奔走します。著者はイギリスの児童文学作家、ローズマリ・サトクリフ。彼女の作品の多くは歴史小説で、時代の流れに翻弄されつつも懸命に生きる人々の姿を巧みな描写力で描いています。

はたして故郷を守ろうとするランダルが行き着く運命とは…。

棚：閉架書庫 2

請求記号：Y933.7 ㏸

館長随想（三十九）



六月十四日、市立函館高校で行われた、高文連道南支部の図書部門研修会に、図書館職員五名で講師を務めてきました。函館をはじめ道南各地から集まった図書館局、図書委員会の高校生六十五名に、本の展示方法を指導しました。

皆さんが図書館に入った時、図書館内でテーマを持たせた本の展示コーナーがあることに気が付かれると思います。職員が知恵を出し合い、話題になっている事柄、季節を感じられるものなどをテーマに、図書館の中から本を集めます。ありがたいことに、多くの人がこの展示コーナーに目をとめ借りていきます。

今回は「函館」をテーマにしたコーナーを作るために、それに合わせて本を持ち寄ってもらいました。集まった高校生に、各自の学校図書館でこのようなコーナー作りの経験があるかと聞くと、一つも手が上がりませんでした。皆未経験ではどのようなことになるかと心配しながら始めました。作業するために十班に分かれてもらいました。各班は、初めて顔を合わせた、学校も違う組み合わせです。彼らが函館の魅力を議論しあう姿を見ているだけで、私は楽しくなりました。七十分という限られた時間でしたが、議論の上決めたテーマを、趣向を凝らした看板にして、本にはポップを付けました。各班ともなかなか魅力的な展示となりました。

今どきの高校生は、スマートフォンばかりいじっている姿を見かけますが（高校生に限りませんが）、私たちがいた二時間は活動中ということもあり、スマートフォンを出す生徒はいませんし、本に対してなかなか面白い考えを持っている生徒もいました。流石に図書局の生徒かなと思います。本好きの高校生たちとの触れ合いは、充実した時間を過ごすことができました。



デジタル資料館 紹介

七夕まつり (昭和34年7月) photo 4020

竹に短冊 七夕まつり

7月7日。今もこの日は、市内のあちこちで子どもたちの元気な歌声が聞こえてきます。

ローソクもらいと呼ばれるこの行事は、函館の他にも北海道の一部で行われていますが地域によっては、歌われる歌がちがいます。



しらべものにチャレンジ!

1. テーマ

自分の「知りたいこと!」を調べて、まとめるにはどうしたらいいの?



3. 調べてわかったこと



○図書館の本は、種類ごとに並んでいる!

日本十進分類法(NDC)を使って、本の種類を分けて、決められた数字がついている。その数字順に図書館では本が並んでいる。

○目次、索引をみる!

本には、目次や索引がある。そこを見ると自分の探しているページがすぐわかる。

調べた方法: 回廊ガラス展示

5. 自分で思ったこと、考えたこと、まとめ、感想



調べ方のコツがわかれば、自分の「知りたい!」がどんどんわかる!

図書館の本はわかりやすく並んでいて、目次や索引を使うと、探しているページが簡単に見つけられる。調べ方のコツがわかるだけで、自分の知りたいことがどんどん調べられるようになる。自分の「知りたい!」を、図書館でどんどん調べて、まとめてお友達に教えよう!

困ったことがあったら、図書館の人に相談してね。図書館はみなさんの「知りたい!」を応援します!



2. 調べてみようと思ったきっかけ

図書館で疑問に思ったことを調べてみようと思ったけど、どうやって調べていいかわからない。

予想



きっと、調べものには『コツ』があるはず!

そして、調べたことをまとめる方法にも『コツ』があるはず!それを調べてみよう。

4. さらに調べてわかったこと



○まとめの基本は、5つ!

- ① テーマ(タイトル)を書く
- ② 調べたきっかけや理由、自分の予想を書く
- ③ 何をどうやって調べたかを書く
- ④ 調べてみてわかったこと、考えたことを書く
- ⑤ どこで調べたか、何を使って調べたかを書く

ポイント! 調べたことは自分の言葉で短く書く、参考にした本の名前を書く!

調べた方法: 回廊ガラス展示

6. お知らせ

第3回函館市図書館を使った調べる学習コンクールを

今年も開催します!

募集期間

8月1日(木)~9月25(火)

申込

学校または、中央図書館(地区図書室)



詳しい内容は、図書館のポスターやホームページをご覧ください。